

「ものづくり・人材」が拓く「まち・ひと・しごとづくり」

～地域に根ざした実学としての科学技術を広く展開し、持続的な地域社会（北海道）の創生を目指す～

実施事業



協働機関



- ①地域が求める人材の輩出/教育システムの構築
- ②学生の地域志向を高めるカリキュラム改革
- ③若年層の雇用創出にむけた企業誘致・雇用拡大
- ④産学官+金が一体となった新産業創出における支援体制
- ⑤大学発技術による「地場ものづくり新産業」の創造
- ⑥社会人の再教育システムの構築



オール北海道体制

大学を学生だけでなく、社会人のスキルアップ、再教育の場として開放

大学生・高専生



これまでの工学部は縦割りの専門性を持つ形態であったが、社会が複雑化することによって、それぞれの「知」の組み合わせで分野横断的に研究する組織の必要性が生じている。

企業経営、技術マネジメント、システム工学などを取り入れて、俯瞰的（パードアイ）に技術、経営を本質的に理解できるものづくりに特化した人材＝CTO（Chief Technology Officer）を育成する。

北海道協創人材育成教育
・全学共通教育と全学科の専門教育の中に地域に関する科目を体系的に配置。北海道の歴史、文化、特色等を学ぶ科目の設置、地域課題をテーマとした課題解決型講義の導入。

産学官金連携で展開される「地域イノベーション学」を学ぶことを通じて、人口減少が進む中で、地域経済の活性化のために注目されている「ものづくり」を支える人材教育を産学官からの外部講師を招聘し実施する。

また、大学が形成・蓄積してきた研究成果と知識と産学官の知見を活用することで、地方立脚型の企業が抱えている成長障害要因を克服するための具体策を探求し、産学官連携によって地域産業を活性化させるための方法論を見出すことを目標とし**地域発のイノベーションを誘発する**。

（カリキュラム：インターサイエンス、北海道再生システム論、北海道産業論、地域インターンシップ等）



大学等の研究成果（技術シーズ）の将来性、あるいは社会が求めているニーズを見抜き育成を行うことで、技術シーズの価値を高め、事業化に至るまでのさまざまな問題（マーケット、知的財産、アライアンス、ビジネスモデル等）を解決しビジネスを構築するためのプロデュース力が求められる。企業OBを対象として、事業化をプロデュースできる人材の育成を目指す。



社会人を対象として、リサーチによる市場ニーズを把握し商品開発を企画、顧客の要望に応える製品の量産に向けた設計図作成など、生産準備に係るプロダクトイノベーターの仕事と、ものづくりの各工程や、人員の配置、タスクなどをマネジメントするプロセスイノベーターの両者の能力を有する社会人を養成する。

北海道経済連合会

地域就職率向上・雇用創出③④⑤

SHIP Re:CYCLE PROJECT



公益社団法人 経済同友会
Japan Association of Corporate Executives

地域企業への就職を5年後に110名以上増（8%アップ）

経済団体、北海道と協働した企業誘致による若年層向け雇用の創出

地場に大学発の技術による新産業を創造



室蘭グリーンエネルギータウン構想
北海道水素イノベーション

H₂

